

様式1 平成26年度 天王寺区運営方針

(区長:水谷 翔太)

区の目標(何をめざすのか)	区の使命(どのような役割を担うのか)
<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなの「思い」が区政に反映されているまち</li> <li>未来を担う人材が育成されているまち～日本一の文教「都市」の実現～</li> <li>「命を守る政策」がしっかりと進められているまち</li> <li>歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区民に対してさまざまな政策を提案し、区政の主役である区民に選択していただく。</li> <li>地方自治の新たな地平を拓くことを区民とともにめざす。</li> <li>施設の管理運営費の圧縮など徹底した歳出削減を行い、災害対策への予算の重点配分や、地域の未来を担う人材の育成、高齢者福祉の強化への取組を進める。</li> </ul>

平成26年度 区運営の基本的な考え方(区長の方針)

重点的に取り組む経営課題については以下のとおり  
 ①区内の基礎自治に関する施策や事業について、区長が自らの権限と責任で政策を遂行していくためには、以前にもまして区民の区政に対するチェックの機会の担保が必要であることから、性別・年齢・居住年数等において多様な「サイレント・マジョリティ」の声を集約し、区政運営に反映させる  
 ②区内人口の約半数が子ども・子育て世代であり、また区民の教育意識も高く、私立高等学校など多く集積していることから、これら地域特性を活かし未来を担う人材の育成に取り組む、日本一の文教「都市」をめざす  
 ③区内65歳以上高齢者の4割が独居世帯であり、急病時や災害時の孤立化などが懸念されることから、これまでの地域の見守り活動とも連携を図りながら、新たな見守り体制の再構築を行う  
 ④上町断層帯地震が発生すると大きな被害を受けると想定され、また高層マンションが増加している一方で行政や地域と連携した災害対策が十分ではないことから、区民一人ひとりの「災害対策リテラシー」の強化による自助力の向上を図る  
 ⑤区内には歴史的・文化的資産が集積し、様々な伝統行事やイベントが行われているが、これらの情報を区内外に効果的に発信できていないことから、効果的な情報発信を行い、まちのブランディングの強化に取り組む  
 ⑥各地域において近年のマンション建設に伴う新旧住民の交流や若手世代への地域活動の広がりが十分でなく、さらに活動団体間の連携もならずも十分ではないことから、地域一体となった地域課題の解決、地域活性化に取り組む「地域活動協議会」運営支援に取り組む

ムダを徹底的に排除し、成果を意識した行財政運営に向けた主な取組については、防災や福祉といった分野への支出を強化するため、区が所管する各種施策事業を徹底的に見直す

重点的に取り組む主な経営課題(様式2)

経営課題の概要	主な戦略	主な具体的取組(26年度予算額)
<b>経営課題1</b> 【区民の声集約プロセスの強化】 区民の意見の区政への反映、地域別の課題の共有化と解消、改革を担い支える職員づくり・人材マネジメント	<b>【1-1 区民の声の区政への反映】</b> ・多様なサイレント・マジョリティなども含めた区民の意見・評価の、区政運営および区において実施される本市事務事業への反映	<b>【1-1-3】</b> あなたの声をつなげ隊による意見聴取〔予算額 153千円〕 サイレント・マジョリティの声の能動的な意見集約 <b>【1-1-4】</b> 様々な広報媒体を活用した区長による情報発信〔予算額 15,740千円〕
<b>経営課題2</b> 【「日本一の文教「都市」」をめざした人材育成の取組と海外人材の活用】 社会教育機会の充実、子どもの将来のための投資の促進、子育て関連情報発信の充実、保育サービスの充実、英語によるコミュニケーション能力の強化、留学生との交流	<b>【2-1 地域の未来を担う人材の育成】</b> ・子育てを支援し、子どもの将来への投資を促す施策を推進 ・子育てに必要な情報の的確な発信 ・グローバル時代に対応できる人材の育成	<b>【2-1-2】</b> 子どもの将来のための投資の促進〔予算額 7,561千円〕 子育てスタート応援券の交付 <b>【2-1-3】</b> 子育て関連情報発信の充実〔予算額 3,680千円〕 SNSなどを活用した子育て関連情報の発信、子育て世帯の交流機会「子育て情報博覧会」の開催 <b>【2-1-5】</b> 英語による即興型ディベートスクール事業〔予算額 4,200千円〕 英語によるコミュニケーション能力の強化、留学生との交流
<b>経営課題3</b> 【お年寄り1人1人の命を守り抜く地域福祉】 高齢者見守り体制の構築、福祉現場のニーズ集約	<b>【3-1 高齢者見守り体制の構築】</b> ・高齢者の生活や体調の異変を早急に察知して対応する体制の構築	<b>【3-1-1】</b> 独居高齢者等見守りサポーター事業の実施〔予算額 7,958千円〕 独居高齢者、高齢者のみ世帯への家庭訪問による見守り
<b>経営課題4</b> 【より多くの人の「災害対策リテラシー」を向上する事業の追求】 減災のための取組の強化、こどもが被害に遭わないための取組、迷惑駐輪防止の取組、区民の安全・安心を担う総合拠点としての区役所づくり	<b>【4-1 減災のための取組の強化(事前の備え)】</b> ・区民の自助・共助に対する意識の向上、取組の強化	<b>【4-1-1】</b> 区民巻き込みオペレーションの展開〔予算額 503千円〕 区役所が積極的に地域に外向く「出前講座」の実施 <b>【4-1-2】</b> 災害対策情報の発信〔予算額 250千円〕 災害に対する事前の備え等の情報の配付 <b>【4-1-3】</b> 家具転倒防止器具取付事業〔予算額 2,178千円〕 自身で取り付けが困難な独居高齢者等を対象とした家具転倒防止器具の取付 <b>【4-1-4】</b> 災害対策アクター(主体)との連携した防災訓練の実施〔予算額 1,845千円〕 「興味を持って参加してもらえる」防災訓練の実施
<b>経営課題5</b> 【戦略的なシティ・プロモーションの推進】 天王寺のまちのブランド力の強化、JR天王寺駅北口エリアの活性化	<b>【5-1 天王寺のまちのブランド力の強化】</b> ・戦国史を気軽に楽しめるイベント「天王寺 真田幸村 博」の開催	<b>【5-1-1】</b> 真田幸村博の開催に向けた取組〔予算額 5,200千円〕
<b>経営課題6</b> 【市政改革プランに基づく「大きな公共を担う活力ある地域社会づくり」】 地域活動協議会の活動支援、コミュニティビジネス化・ソーシャルビジネス化、地域活動の活性化支援、連携・協働のコーディネート、地域課題解決担い手発掘事業	<b>【6-1 連合振興町会エリア単位での課題の共有と解決に向けた取組の支援】</b> ・中間支援組織と連携した地域活動協議会の運営支援	<b>【6-1-1】</b> 地域活動協議会の活動の支援〔予算額 17,437千円〕 地域活動協議会が取り組む大きな公共を担う公共的事業や地域活動への支援

ムダを徹底的に排除し、成果を意識した行財政運営に向けた主な取組(様式3)

主な取組項目	取組内容
快適に利用できる区役所の追求	・来庁者の快適度を向上させる取組の推進 利便性の向上を図るため、保健福祉課の来庁者ゾーンの拡大、窓口配置の改善、キッズスペースの配置
事務事業の社会的ビジネス化	・既実施の社会的ビジネス化をモデルに、公園管理および駐輪啓発について、可能などころから実施
外部人材資源の公共への活用	・貴重な外部人材資源を公共に活用するためのプロボノ活用システムの導入
区民センターの運営管理費の縮減	・指定管理の手法を工夫することによる運営管理費の大幅な縮減
新たな財源の確保 ・講堂利用など行政財産の目的外使用料収入の確保 ・クラウドファンディングなど寄付金収入の拡大 ・広告料収入の確保	・区内本市施設を活用した広告事業や行政財産の活用により、新たな自主財源を平成27年度までに1,000万円確保 区庁舎を利用した「人前結婚式」の具体化、「天王寺 真田幸村博」の取組において、自治体特化型クラウドファンディングを活用した寄付募集を支援、広告代理店を活用した広告事業の推進